

直腸癌術後再発に対する重粒子線治療の概要

プロトコール番号:1803-2

治療プロトコール	局所再発性直腸癌に対する重粒子線治療 1803-2
対象	再手術非適応の直腸癌術後骨盤内再発
治療方法	総線量 73.6 Gy (RBE)/16 回/4 週間
適格条件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 画像上で評価可能病変を有する、原発性直腸癌術後骨盤内再発</li> <li>2. 治癒切除の適応外または手術拒否症例</li> <li>3. 消化管浸潤を認めない</li> <li>4. Performance Status(ECOG 基準) 0-2</li> <li>5. 本人に病名・病態の告知がなされており、患者本人から文書による同意が得られている</li> <li>6. キャンサーボードで、重粒子線治療の適応ありと判断されている</li> </ol>
不適格条件	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 臨床的標的体積の最大径が 15cm 以上</li> <li>2. 化学療法実施中または照射開始時点で終了後 2 週間経過していない</li> <li>3. 他臓器に活動性の重複癌を有する ただし、根治治療により治癒と判断された場合、もしくは治癒が見込める場合を除く(もう一方の悪性腫瘍の治療先行を推奨)</li> <li>4. 照射領域に開放創や活動性で難治性の感染、炎症疾患を有する</li> <li>5. 医学的、心理学的または他の要因により不適格と判断された場合</li> </ol> <p>*先進医療 B での臨床試験が開始された場合は、その適格条件を満たした症例は同試験登録終了まで除外する</p>
治療の種類	先進医療